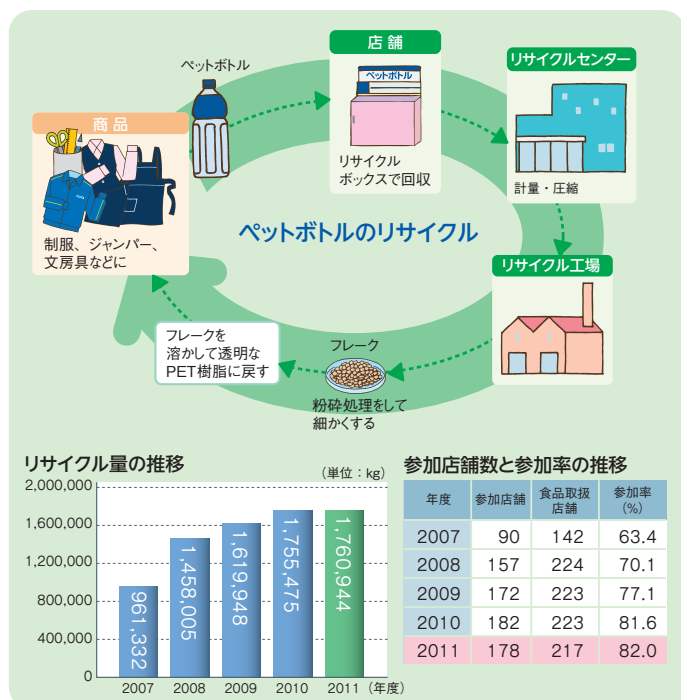
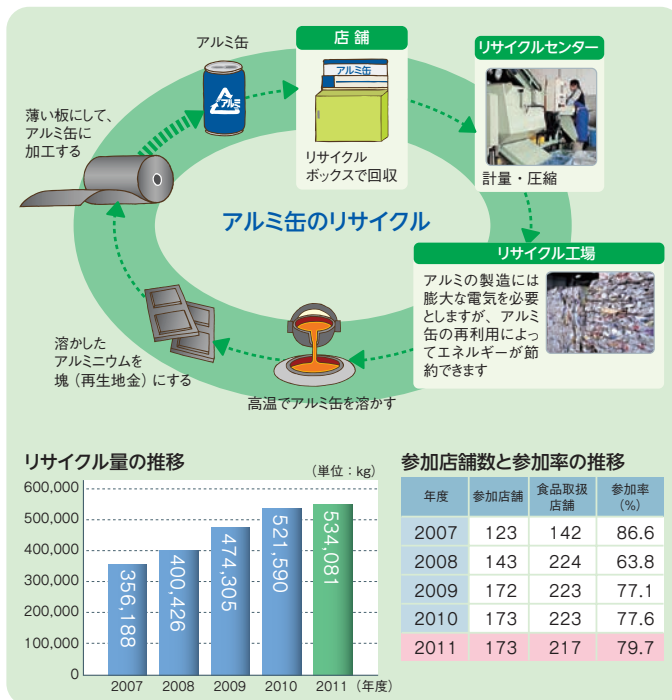
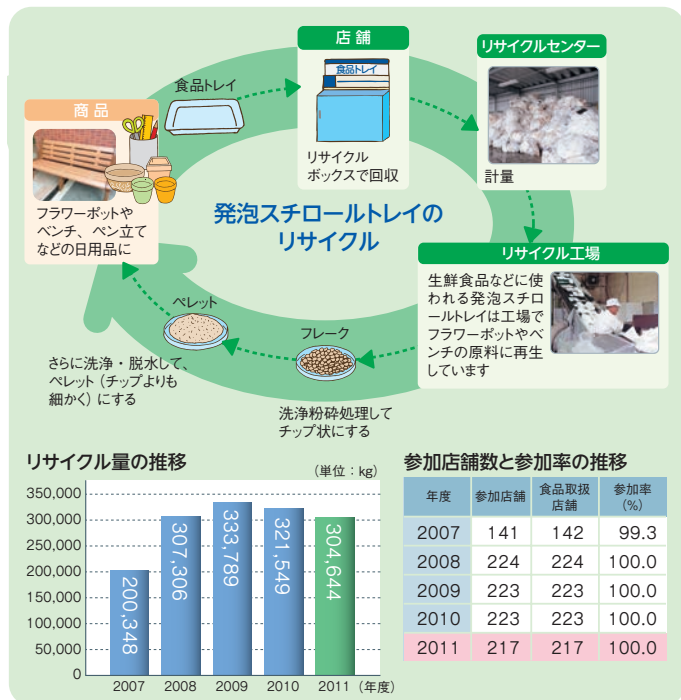




環境省活かそう資源プロジェクト

資源循環を具体的に知ってもらい、「ゴミにしないで活かす」ことをテーマにしたプロジェクトが環境省廃棄物リサイクル部で立ち上がり、稲沢市のリーフウォークの「エコ博」で展示されました。リサイクルという言葉はよく口にされ目にも止まりますが、具体的に何に再利用しているのかが見えてきません。私たちがリサイクルするために出し、回収された再生資源が活かされていることを知り、さらに資源循環に努めていけば、循環型社会を構築することができるのです。



店頭回収の現状

リサイクルボックス回収実績

リサイクルボックスの2011年度の回収実績はアルミ缶が前年比102%で増加、ペットボトルが前年比100%でした。しかし、食品トレイは前年比94.7%、牛乳パックは96.3%で前年より減少しています。ただ、回収実績は重量で示されており、ペットボトルと食品トレイは年々軽量化が進んでいるため、回収個数はそれほど減少していないと考えられます。

また食品トレイ回収の減少の要因としては、市や町のごみの分別が「容器以外のプラゴミ」と「容器プラゴミ」と分かりにくく曖昧で、家庭でゴミの分別が正しく行われていないことにあると思います。

